

令和6年度 北信越ジュニア柔道体重別選手権大会

兼 JOC ジュニアオリンピックカップ 2024年度 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会予選会
開 催 要 項

- 1 主 催 北信越柔道連盟
- 2 主 管 長野県柔道連盟
- 3 日 時 令和6年7月7日(日) 8:30 開場・9:30 開会式
- 4 会 場 長野県立武道館 佐久市猿久保 165-1 ☎0267-78-5370
- 5 参加選手 (1) 下記体重区分による男女7階級
男子:①60 kg級 ②66 kg級 ③73 kg級 ④81 kg級 ⑤90 kg級 ⑥100 kg級 ⑦100 kg超級
女子:①48 kg級 ②52 kg級 ③57 kg級 ④63 kg級 ⑤70 kg級 ⑥ 78 kg級 ⑦ 78 kg超級
(2) 参加選手数は各県各階級1名、計14名とする。
(3) 選手は日本国籍を有し、全日本柔道連盟に登録している者。
(4) 選手は平成16(2004)年1月1日以降、平成21(2009)年12月31日以前の出生者(2024年中に15歳~20歳になる者。)
(5) 地区予選の出場は、全柔連登録を行った県から出場すること。
(6) 全日本柔道連盟柔道衣規格に適合する柔道衣を使用すること。
なお、柔道衣は白色を使用すること。
(7) 選手は背部に下記の要領でゼッケンを縫い付けること。

○	○
○○	高校

ア 布地は白色(晒、太綾)とする。
イ サイズは横30 cm~35 cm、縦25 cm~30 cmとする。
ウ 苗字(姓)は上側2/3、所属名は下側1/3にゴシックまたは楷書で記載する。
エ 縫い付けの場合は、後襟から5~10 cm下部とし、対角線にも強い糸で縫い付けること。
- 6 試合方法 (1) 国際柔道連盟試合審判規定で行う。
(2) 試合時間は4分間、優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上、得点差がない場合は、時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア方式)により勝敗を決する。
(3) 柔道衣の乱れに対する罰則(指導)を適用する。
(4) 試合は各階級各県1名、計5名のトーナメント戦とする。
(5) 2位決定の敗者復活戦を実施する。
- 7 表 彰 各階級1位、2位の選手を表彰する。
- 8 上位大会 (1) 各階級1位の選手を地区代表として、全日本ジュニア柔道体重別選手権大会へ推薦する。
(2) 2位選手を補欠とする。
- 9 参加申込 各県ごと別添申込書により、下記2ヵ所宛に6月17日(月)必着で申込むこと。
(1) 長野県柔道連盟事務局
〒381-1235 長野県長野市松代町東寺尾 3969 若林 俊輔 ☎090-9665-7307
E-mail: shunnsuke-wakabayashi-01@nagano-ngn.ed.jp
(2) 北信越柔道連盟事務局
〒925-0613 石川県羽咋市飯山町イ 28 井村 和彦 ☎090-8090-5973
E-mail: papillon5973@yahoo.co.jp
(選手変更届は、大会前日の理事・幹事会(13:30)までに、事務局長(井村)まで、提出すること。)

- 10 計 量 令和6年7月6日(土)午後4時から5時まで、長野県立武道館で行う。
- 11 前日練習 令和6年7月6日(土)午後1時から5時まで、長野県立武道館を利用することができる。
- 12 審判会議 令和6年7月7日(日)午前9時から長野県立武道館会議室で行う。
- 13 宿 泊 宿舎については、各自で確保すること。
- 14 そ の 他 (1)試合中の負傷については、応急手当を行うが、その後の責任は一切負わない。
(2)選手は全日本柔道連盟登録証、健康保険証を持参すること。
(3)皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発病の有無を各県の責任で必ず確認すること。感染が疑わしい場合、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において治療を受けること。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会に出場できない場合もある。
(4)脳震盪対応について、選手及び指導者は次の事項を厳守すること。
ア 大会一ヵ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場許可を得ること。
イ 大会中に脳震盪を受傷した者は、その後の当該大会への出場は認めない。
ウ 上記のア又はイに該当する選手が出た場合、指導者(監督)は大会事務局へ事故報告書を提出すること。